

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2000-296336(P2000-296336A)

【公開日】平成12年10月24日(2000.10.24)

【出願番号】特願2000-28009(P2000-28009)

【国際特許分類第7版】

B 0 1 J 27/199

B 0 1 J 27/057

B 0 1 J 37/04

C 0 7 C 51/25

C 0 7 C 57/055

// C 0 7 B 61/00

【F I】

B 0 1 J 27/199 Z

B 0 1 J 27/057 Z

B 0 1 J 37/04 1 0 2

C 0 7 C 51/25

C 0 7 C 57/055 B

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

[比較例5]

実施例1において、B液として29重量%アンモニア水13.6部用いることによりA B混合液中のアンモニウム根の量をモリブデン原子12モルに対して4モルとなるように変更した点以外は、実施例1と同様にした結果を表1に示した。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

[比較例6]

実施例1において、B液として29重量%アンモニア水6.8部用いることによりA B混合液中のアンモニウム根の量をモリブデン原子12モルに対して20モルとなるように変更した点以外は、実施例1と同様にした結果を表1に示した。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

【表1】

	添加順序 ¹⁾	アンモニウム根比率		M A L ³⁾ 転化率(%)	M A A ⁴⁾ 選択率(%)	M A A ⁴⁾ 単流収率(%)
		A液	A B混合液 ²⁾			
実施例 1	(A+B)+C		11.0	83.6	82.4	68.9
実施例 2	(A+B)+C		6.0	83.0	82.8	68.7
実施例 3	(A+B)+C		15.0	83.3	82.6	68.8
比較例 5	(A+B)+C		4.0	80.5	83.1	66.9
比較例 6	(A+B)+C		20.0	79.8	83.4	66.6
実施例 6	(A+B)+C		11.0	81.5	82.5	67.2
比較例 1	(A+B)+C	4.0	7.0	78.6	83.0	65.2
比較例 2	(A+C)+B		11.0	77.7	83.2	64.6
比較例 3	A+(B+C)		11.0	78.3	83.0	65.0
実施例 7	(A+B)+C	0.7	13.3	80.3	83.5	67.1
実施例 8	(A+B)+C	0.7	13.3	81.2	83.6	67.9
比較例 4	(A+B+C)	0.7	13.3	76.5	83.4	63.8

1) 添加順序の欄の記号の意味は次の通り。

(A+B)+C : A液にB液を添加した後にC液を添加する

(A+C)+B : A液にC液を添加した後にB液を添加する

A+(B+C) : A液にB液とC液の混合液を添加する

(A+B+C) : A液、B液およびC液を同時に混合する

2) 添加順序が(A+B)+C以外の場合、A B混合液のアンモニウム根比率はC液を含めた混合液のアンモニウム根比率をいう。

3) M A Lとはメタクロレインを表す。

4) M A Aとはメタクリル酸を表す。